

経済・金融 フラッシュ

貿易統計 10年8月 ～輸出の減速傾向強まる

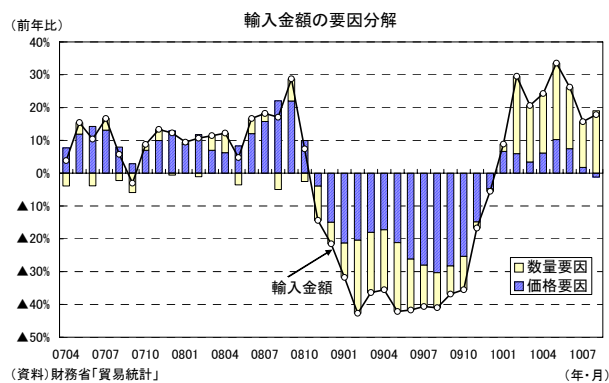
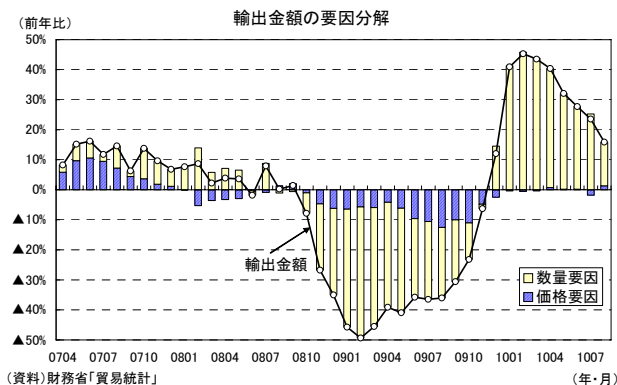
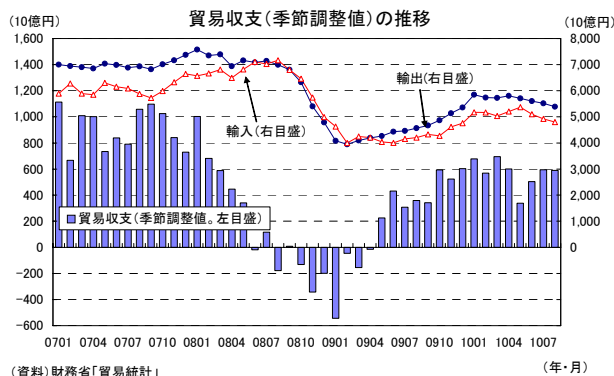
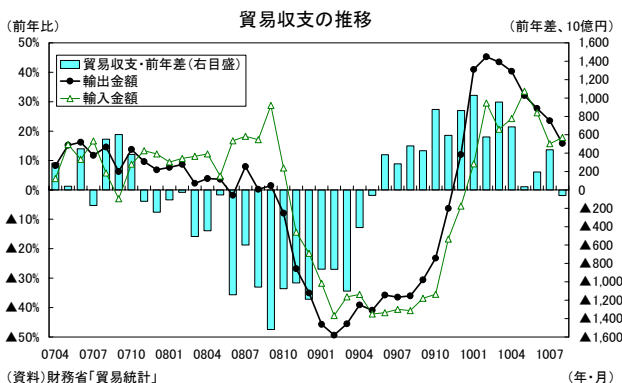
経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 貿易黒字は15ヵ月ぶりに前年同月を下回る

財務省が9月27日に公表した貿易統計によると、8月の貿易収支は1,032億円の黒字となり、15ヵ月ぶりに前年の水準を下回った。事前の市場予想（ロイター集計：2,384億円、当社予想は1,607億円）を下回る結果であった。

輸入の伸びが前月よりも高まる（7月：前年比15.7%→8月：同17.9%）一方、輸出の伸びが大きく鈍化し（7月：前年比23.5%→8月：同15.8%）、輸入の伸びを下回った。季節調整済の貿易収支は5,897億円の黒字となり、黒字幅は前月の5,948億円から若干縮小した。円高の影響から輸出（季節調整値）は4ヵ月連続、輸入（季節調整値）は3ヵ月連続で前月よりも減少した。



輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比14.4%（7月：同25.5%）、輸出価

格が前年比 1.2% (7月:同▲1.6%) であった。輸入の内訳は、輸入数量が前年比 19.1% (7月:同 13.8%)、輸入価格が前年比▲1.0% (7月:同 1.6%) であった。

2. アジア向け輸出が特に低調

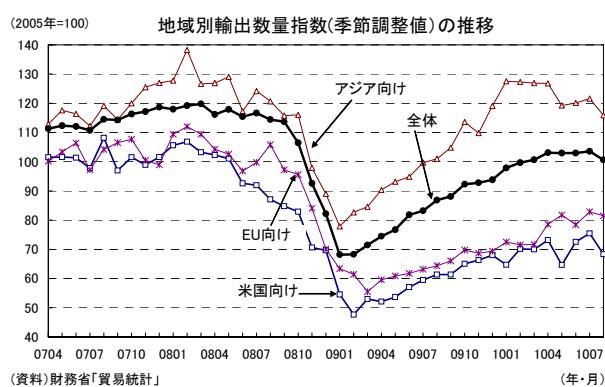
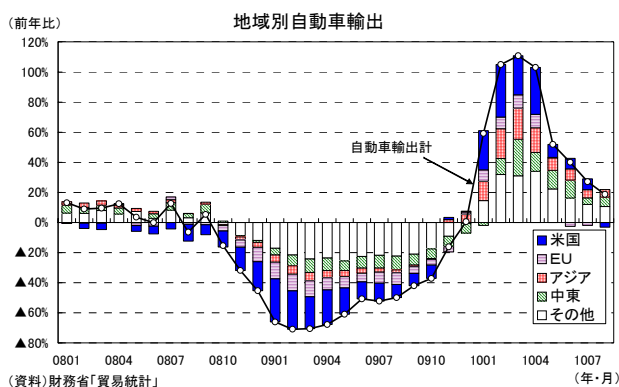
自動車輸出は前年比 18.7% となり、7月の同 27.1% から伸びが低下した。米国向け (7月:前年比 20.2% → 8月:同▲8.3%) が 10 ヶ月ぶりに前年比でマイナスに転じたほか、アジア向け (7月:前年比 40.9% → 8月:同 37.8%) の増加幅が縮小し、EU 向け (7月:前年比▲12.1% → 8月:同▲0.3%) は 3 ヶ月連続で減少した。

8月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比 11.5% (7月:同 27.5%)、EU 向けが前年比 26.7% (7月:同 31.6%)、アジア向けが前年比 15.0% (7月:同 22.9%) といずれの地域向けも伸びが鈍化した。

季節調整値 (当研究所による試算値) では、米国向けが前月比▲9.5%、EU 向けが同▲1.6%、アジア向けが同▲4.7%、全体では同▲2.8% となった。4-6 月期に対する 7、8 月の平均は米国向けが 2.5%、EU 向けが 3.3%、アジア向けが▲2.7%、全体では▲0.9% となっており、ここに来てアジア向け輸出の低調が際立つ形となっている。

一方、輸入数量指数 (季節調整値) は前月比 1.8% と 5 ヶ月連続で上昇した。

海外経済の減速、円高基調の継続を背景として、輸出は減速傾向を強めている。4-6 月期の GDP ベースの外需寄与度は前期比 0.3% と 5 四半期連続でプラスとなったが、1-3 月期の同 0.6% からはプラス幅が縮小した。7-9 月期は輸入が増加基調を維持する一方、輸出の伸びが 4-6 月期の前期比 5.9% から大きく低下することが見込まれるため、外需寄与度は前期比でほぼゼロ近傍にとどまる可能性が高い。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。